

## 各種洗浄方法と 洗浄の問題点

### 洗浄とは

再処理対象の医療器具から全ての目に見える汚れ、目に見えない汚れ、その異物を取り除くこと

### 洗浄の目的

- ・微生物数を減らす
- ・微生物の増殖を支援する栄養物を減らす
- ・エアロゾルやこぼれによる環境汚染の可能性を低める
- ・血液やその他の物質によるデバイスへの損傷を抑制する

## 洗浄の必要性

適切な洗浄なくして  
適切な消毒滅菌はできません

洗浄により器材表面の付着細菌叢を99.99%除去できます。

Rutala WA:APIC guideline for selection and use of disinfectants.  
Am J Infection Control.24(4):313-342,1996

## 汚染の残存



洗浄は最も重要なステップ

## 不十分な洗浄だと・・・

- ・消毒・滅菌が不十分
- ・デバイス上に残された汚れや有機物は発熱や異物反応の原因となる  
また、感染源ともなる
- ・器械の性能に影響を与える

### 除染とは

感染性微生物やその他の有害物質による汚染の除去または低減

### 除染の目的

- ・器械を手袋を着用していない人が触っても安全な状態にする
- ・次の処理ステップをやりやすくするためにバイオバーデンを減らす

## 患者ケア器具の洗浄

目に見える有機残渣と無機物は、  
洗剤により除去する効果のある  
洗浄剤を使用する (I B)

汚染物質が器具上で乾燥してしまわない  
ように、医療器具の洗浄は使用後  
できる限り速やかに行う。 (I B)

用手洗浄と機械洗浄のいずれかを行うこと  
(I B)

## バリデーションとは

工程や製造方法、試験方法、設備、  
機械など品質に影響を及ぼす製造に  
係わる全ての要因について、それらの  
システムやプロセスが**科学的根拠**、  
**妥当性**、**信頼性**および**再現性**をもって  
所期の目的通りに機能していることを  
検証し、これを文書化すること

## 洗浄のバリデーション

### 1. 洗浄の適格性

- 1) 汚染度  
使用直後 or 乾燥 骨片の有無  
薬品による変質 など
- 2) 種類  
血液、体液、鏽、シリコンオイル、  
テープ、軟膏 など
- 3) 形状と材質  
ボックスロック、内腔の有無、  
鋭利な器材、微細な器材 など

### 2. 装置性能と工程性能確認

用手洗浄・ブラッシング洗浄  
浸漬洗浄  
超音波洗浄  
WD (ウォッシャーデスインフェクター)



- ① 装置の調整
- ② 工程確認
- ③ 洗浄剤の選定

### 3. 評価

#### 1) 清浄度

洗浄がしっかりとできているか  
洗浄方法はこれでいいのか  
効果的な処置なのか

#### 2) 機能

機能の講義をご参照ください

## 洗浄の質の保証

洗浄プロセスの質保証により  
問題の特定や解決に役立つ

しかし

これらは洗浄プロセスのモニタリングを  
おこなうが、全ての器械が洗浄されている  
ことを証明するものではありません

**器械の解体や洗浄機の正しい使用、  
正しい洗浄剤の選択が必要**